



豊島区教育委員会「学校SDGs推進アドバイザー」 阿部 治先生からのメッセージ

学校で指導する内容を定めた学習指導要領はほぼ10年毎に改定されています。「持続可能な社会の創り手の育成」が新たに盛り込まれた新学習指導要領が一昨年より順次、小学校、中学校、高等学校で適用されています。その特徴はSDGs教育に他なりません。この機会にお子さんやお孫さんなど、身近な子どもたちの教科書をぜひ見てください。社会科や理科、家庭科はもちろん、国語や英語、数学などほぼ全ての教科書にSDGsが登場します。世代を超えた共通言語であるSDGsを家庭の話題として取り上げてみてはいかがでしょうか。きっと盛り上がるはずですよ。

豊島区教育委員会「学校SDGs推進アドバイザー」

本事業にかかる取組について、専門知識や見識に基づく助言を受けるために、SDGsに精通した、立教大学名誉教授・公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長の阿部 治氏に、「学校SDGs推進アドバイザー」に就任いただきました。阿部先生には、教職員に向けた研修や、学校や教育委員会の取組に対して様々なアドバイスをいただいております。



お問合せ 庶務課SDGs推進グループ/4566-2548

文化財の見かた・楽しみ方・その14

池袋第三小学校通学区域の巻

『少年探偵団』や『怪人二十面相』で有名な推理小説家、江戸川乱歩が書斎兼書庫として使用していた土蔵が、立教大学構内に残されています。また、隣接して、乱歩が設計した応接間も残されています。

この土蔵は大正13年(1924)に建設されたものでした。乱歩は生涯46回もの引っ越しをしましたが、この蔵が大変気に入って、昭和9年(1934)にこの地に引っ越してから、昭和40年に死去するまで過ごし、数々の名作を生みだしました。

この建物は、木造の土蔵造りの2階建て。関東大震災後に建てられた土蔵なので、土壁の下地や屋根の作り方には地震に強くなるような新しい工夫が取り入れられています。また、外壁の仕上げは鼠漆喰(ねずみじっくい)で、土蔵の外壁としては大変めずらしいものです。

江戸川乱歩が晩年を過ごし、多くの名作を生んだ場所であり、土蔵建築としても貴重な建物であることから、平成15年(2003)年に、豊島区指定有形文化財に指定されました。

現在は、立教大学大衆文化研究所の施設として、限定公開されています。【豊島区西池袋5-15-17】



お問合せ 庶務課文化財グループ/3981-1190